

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 2' 13.21"		
				経度	140° 5' 22.89"		
汐見橋 (フリガナ)シオミハシ	潮見3号線	北海道爾志郡乙部町字汐見(字花磯)					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.27	鮭歌三ツ谷川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)	点検責任者		神尾友二
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01			
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01			
	床版	I					
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工02			
支承部		II	腐食	写真005,支承部101			
その他		II	腐食	写真006,横構01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、又承の部分空り替え、ひびわれ補修の実施が望ま1.1.1.	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1986年	28m	2.0m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 2' 34.44"	
				経度	140° 5' 13.38"	
花磯橋 (フリガナ)ハナイソハン	潮見花磯線	北海道爾志郡乙部町字花磯				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道乙部町	2016年09月28日	道路の上にある	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾 友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01				
	横桁							
	床版							
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01				
支承部		I						
その他		II	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	伸縮装置に漏水が見られる。損傷が進行すると沓座面の凍害などの要因となるので、状況に応じて対策が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1997年	23m	11.0m
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>【終点】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【起点】</p> </div> </div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 59' 39.48"		
				経度	140° 7' 48.65"		
鳥山橋 (フリガナ)トヤマハシ	鳥山公園環状線	北海道爾志郡乙部町字鳥山					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.2.8	小茂内川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版	II	漏水・遊離石灰	写真003,床版14					
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01					
支承部		I							
その他		II	亀裂	写真006,高欄・防護柵01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、高欄の取替が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1996年	25m	10.75m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 0' 42.51"		
				経度	140° 9' 46.2"		
栄野橋 (フリガナ)サカエノハシ	突符川沿道路	北海道爾志郡乙部町字栄野					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2016年09月27日	河川・開水路・湖沼	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾 友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01					
	横桁	II	腐食	横桁01					
	床版	II	うき・剥離・鉄筋露出	床版01					
下部構造		II	うき・剥離・鉄筋露出	下部工02					
支承部		II	腐食	写真005,支承部101					
その他		II	破断	高欄・防護柵01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	鋼桁に腐食が見られる。進行すると鋼部材の耐力低下の要因となるの状況に応じて対策が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963年	51m	4.30m

【起点】



【終点】

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 0' 53.45"		
				経度	140° 10' 41.4"		
突符橋 (フリガナ)トツパシ	突符川沿道路	北海道爾志郡乙部町字栄野					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2016年09月28日	河川・開水路・湖沼	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)	点検責任者		神尾 友二
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01			
	横桁	II	腐食	横桁01			
	床版	II	床版ひびわれ	写真003,床版03			
下部構造	II	ひびわれ	写真004,下部工01				
支承部	II	腐食	写真005,支承部101				
その他	II	土砂詰まり	写真006,排水装置01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	下部工に凍害によるひび割れが見られる。損傷が進行すると沓座面の耐力低下の要因となるので状況に応じて対策が望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1965年	36m	4.40m
【起点】		【終点】

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 0' 5.73"		
				経度	140° 7' 35.1"		
落合橋 (フリガナ)オチアイバシ	突符川沿道路	北海道爾志郡乙部町字栄浜(字栄野)					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2016年09月26日	河川・開水路・湖沼	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)			点検者	日本データサービス(株)	点検責任者	神尾 友二
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01		
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01		
	床版	II	床版ひびわれ	写真003,床版01		
下部構造	I					
支承部	II	腐食	写真005,支承部101			
その他	II	破断	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	点検時に記録	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	床版のひび割れ及び桁端部の腐食に損傷の進行が見られる。損傷が進行すると各部材の耐力低下の要因となるので状況に応じて対策が望ましい。			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1978年	32m	7.50m

【起点】



【終点】

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 58' 26.45"			
				経度	140° 9' 51.72"			
姫川1号橋 (フリガナ)ヒメカワイチゴウキョウ		姫川1号線	北海道爾志郡乙部町字館浦					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
北海道乙部町	2017.1.26	用水路	有	一般道				

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I						
支承部								
その他		II	舗装の異常	写真006,舗装01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	舗装の定期的な維持管理が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
1999年	2m	5.50m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 58' 11.2"		
				経度	140° 10' 54.41"		
小坂岱橋 (フリガナ)コサカタイハン		姫川9号線	北海道爾志郡乙部町字姫川				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.26	小坂岱川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者		日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	腐食	写真006,高欄・防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	防護柵の定期的な維持管理が望まれる。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>起点</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>終点</p> </div> </div>
1987年	9m	6.50m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 0' 7.92"		
				経度	140° 11' 48.91"		
菖蒲谷地2号橋 (フリガナ)ショウブヤチニコウキョウ		富岡7号線	北海道爾志郡乙部町字富岡				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.26	小茂内川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版	II	漏水・遊離石灰	写真003,床版01					
下部構造		I							
支承部		I							
その他		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆02					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として地覆の断面修復が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員			
1989年	12m	5.0m			
			起点	終点	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。